

神田川流域浸水予想区域図

※ この図は、原図（1/25,000）を縮小・複製したものです。

1. 神田川流域浸水予想区域図について

- (1) この図は、神田川流域の浸水予想区域と、想定される水深（最大水深）を示したものです。
- (2) 流域の皆様には、洪水の可能性について知っていただくことにより、「緊急時の水防、避難」、「水害に強い生活様式の工夫」等に役立てていただくようお願いいたします。
- (3) この浸水予想区域図は、現時点での神田川流域の河道整備状況、洪水調節池施設及び下水道の整備状況等を勘案して、平成12年9月に発生した東海豪雨の大雨が降ったことにより、神田川流域が浸水した場合に予測される洪水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。なお、流域下流部の一部は、ポンプ排水区域となっていますが、ポンプ排水能力を考慮していません。
- (4) 洪水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化することがあります。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 東京都都市型水害対策検討会
- (2) 作成年月日 平成13年8月30日
- (3) 対象となる河川 荒川水系神田川（神田川、善福寺川、妙正寺川、江古田川、日本橋川）
- (4) 対象とした降雨 平成12年9月 東海豪雨（総雨量 589mm、時間最大雨量 114mm）

3. 図面の見方のポイント

- 一般的に河川沿いは低地であるため、浸水深が大きくなり注意が必要です。また、河川から離れていても、以下のような青・緑色の所も浸水深が大きくなるので注意してください。
- (1) 帯状に色が付いている区域は、昔、河川が流れていた場所（現在は、緑道等）で低地形です。
 - (2) 局所的に色が付いている所は、昔、沼や池などがあった場所で低地形となっています。

位置図



【関係区市】
千代田区、中央区、新宿区、
文京区、台東区、渋谷区、
中野区、杉並区、豊島区、
練馬区、武蔵野市、三鷹市

【問い合わせ先一覧】

東京都建設局河川部計画課	03(5321)1111 (代)
東京都下水道局計画調整部計画課	〃
千代田区都市整備部土木計画課	03(3264)2111 (代)
中央区土木部管理課	03(3543)0211 (代)
新宿区総務部防災課	03(3209)1111 (代)
文京区土木部土木課	03(3812)7111 (代)
台東区都市づくり部都市計画課	03(5246)1111 (代)
渋谷区土木部管理課	03(3463)1211 (代)
中野区総務部防災課	03(3389)1111 (代)
杉並区民生生活部防災課	03(3312)2111 (代)
豊島区民生部防災課	03(3981)1111 (代)
練馬区土木部維持課	03(3993)1111 (代)
武蔵野市総務部防災課	0422(51)5131 (代)
三鷹市都市整備部緑と公園課	0422(45)1151 (代)

